

平成 28 年 9 月 27 日

関係機関の長 各位

東京女子医科大学
学長 吉岡俊正

母子総合医療センター新生児医学科教授候補者推薦について(公募期間延長)

謹 啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本学医学部では、母子総合医療センター新生児医学科教授 楠田聡教授が平成 29 年 3 月 31 日をもって定年退職しますので、後任を選考することになりました。同部門は東京女子医科大学母子総合医療センターの中の新生児部門を担当としています。

本学の母子総合医療センターは、昭和 59 年に大学における本邦初の母子総合医療センターとして設立されました。また、東京都の中核周産期医療施設として総合周産期母子医療センターに指定されています。そのため、都内あるいは都外も含めて、多くのハイリスク妊婦あるいは新生児が搬送されてきます。

つきましては、新生児医療に造詣が深く、新生児学に関する教育、研究、診療を推進し、優れた組織マネジメント能力を有してチーム医療と医療安全を実施できる方を公募致します。また本学では、女性医師の活動の場の拡充を目指しており、教授職においても女性医師に広く門戸を開いていることも申し添えます。貴学ならびに関連の諸機関に候補者として適任者がおられましたら、ご推薦賜りますようお願い申し上げます。なお、周産期専門医(新生児)専門医の資格をおもちであることが望ましいと考えております。

ご推薦の際は下記書類を添付して下さい。

なお、候補者の方には選考過程で、ご来学の上、面接あるいは公開講演をお願いする場合があります。なお、講演については、当日出席できなかった教授会員が視聴できるように(これ以外の目的には使用しません)、質疑を含め録画させていただくことをご了解下さい

謹 白

記

1. 提出書類(詳しくは別紙参照)

- | | |
|------------------------------|------|
| (1) 履歴書 | 1 部 |
| (2) 業績目録 | 1 部 |
| (3) 主要論文、別刷 | 10 編 |
| (4) 主要論文 10 編の各 200 字以内の説明 | 1 部 |
| (5) 診療実績 | 1 部 |
| (6) 自己評価書(下記項目に分け、各 800 字程度) | |
| (7) 推薦書(5 通まで) | |
| (8) 推薦者一覧 | |

(3) および(7)を除く、上記書類は電子ファイル(ワードあるいはエクセル)としても保存し、書類と共に USB メモリーまたは CD も同封して、書留便などの履歴が残る方法で送付してください。なお、提出書類および電子ファイルは返却致しませんが、応募情報の漏洩なきよう厳重に管理の上、選考終了後当方にて責任を持って処分を致します。

2. 締め切り期日: 平成 28 年 10 月 24 日(月) 必着

3. 提 出 先: 〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学 学長宛

(「母子総合医療センター新生児医学科教授 応募書類」と朱書をお願いします。)

4. 問い合わせ先: 東京女子医科大学学務部医学部学務課

電話 03-3353-8111(内線) 22112

当該公募のお知らせはホームページ <http://www.twmu.ac.jp/univ/> のトップページからご覧下さい。

必要な書類 (A4版を使用のこと)

(1) 履歴書 (写真貼付)

学歴、職歴、教育歴、研究歴、診療歴等に分ける(相互に重複することは差し支えない)。なお、各履歴には下記を明記すること。

- 1) 学歴: 学位、留学を含む
- 2) 教育歴: 卒前教育、卒後教育、大学院教育および学位論文指導、教育関係の委員などを含む
- 3) 研究歴: 研究領域、研究テーマ、研究費取得状況(研究代表と分担を分けて記載)、受賞歴など
- 4) 診療歴: 認定医・専門医・指導医(番号、取得年)、外来診療単位数(午前・午後を各1単位とし、1週間での単位数を記載)、診療関係の院内委員(保険委員、医療安全管理委員など)
- 5) 学会活動: 所属学会名と入会年、学会役員、委員(雑誌編集委員など)
- 6) 社会活動: 患者教育・支援活動、社会における啓発や施策への協力など

(2) 業績目録

別紙様式1により、記載する。

(3) 主要論文、別刷

主な原著10編をあげ、その10編の論文の別刷(コピー可)を各1部ずつ添付する。

(4) 上記(3)の主要な原著論文10編の論文について、各々の論文の独創的な点について200字以内の説明を記載する。

(5) 診療実績

2015年4月から2016年3月までの1年間に、先生の施設での診療実績について別表のように記載してください。

なお、診療実績の確認のために、ご本人の了解のもと所属機関長に依頼して資料を取り寄せることもあります。

(6) 自己評価書

以下の各項目に関する自己評価書を具体的に記載する。

教育: 講義、実習、少人数教育(チュートリアルなど)の経験と、卒前・卒後教育に対する考えを記載する(800字程度)。

研究: 主たる研究分野とその業績、今後の展望と抱負を記載する(800字程度)。

診療: 実績、専門領域、特殊技能などを記載する(800字程度)。

医療安全: リスクマネージャーの経験や医療安全講習会参加の状況を記載するとともに、安全な医療に関する考えを記載する(800字程度)。

組織マネジメント: 主導的立場で経験した事例を記載する。例えば、教室の運営、医局長や病棟長の経験、所属学会の委員会の委員長、社会活動における主導的立場など、種類を問わない(800字程度)。

その他: 卒業生が全員女性である東京女子医科大学の特殊性を鑑み、医療現場における女性医師のあるべき姿、また女性医師に対する配慮のあり方についての考えを記載する(800字程度)。

(6) 推薦書 (複数可)

最初に応募者との関係と交流期間を明示の上、応募者の教育、研究、診療に関する能力および、人物について客観的かつ詳細な評価が記載されていること。推薦者は国内外を問わないが、応募の締切日を厳守すること。推薦書は推薦者から直接、学長宛に

送付されること。申請書に推薦者の氏名・所属・役職を明記すること。
なお、A4 1枚（1200字）程度が望ましいとお伝えください。

(7) 推薦者一覧

推薦者の氏名・所属・役職を明記した一覧表を応募書類に加える。